

# 梅若会定式能

舞囃子 経

政 鷹尾 章弘  
替之型

能 三

輪 川口 晃平  
二段神楽  
彩色之伝



能 自然居士

松山 隆之  
松山 統美



令和五年七月十六日 (日)  
午後一時開演 (正午開場)

梅若能楽学院会館  
自由席 七、〇〇〇円



<https://umewaka.org>

舞囃子  
經

政  
鷹尾 章弘

柿原 光博  
飯田 清一  
藤田 貴寛

小田切康陽  
松山 隆雄  
梅若長左衛門

三  
川口 晃平  
輪  
二段神楽  
彩色之伝

御厨 誠吾

亀井 広忠  
飯田 清一  
藤田 貴寛

姥浦 理紗

狂言  
鈍根草

三宅 右矩

三宅 近成

梅若 英寿  
山崎 正道  
梅若 紀彰

能  
自然居士  
松山 統美  
松山 隆之

大日方 寛  
野口 能弘

柿原 光博  
観世新九郎

杉 信太郎

梅若 雄紀  
井上 貴美子  
角当 直隆

《休憩十五分予定》

後見 小田切康陽  
赤瀬 雅則

地謡 鷹尾 雄紀  
梅若雄一郎  
英貴

井上 貴美子  
角当 直隆  
山崎 近成

後見 山中 近晶  
角当 行雄

地謡 梅若 英寿  
山崎 正道  
梅若 紀彰

梅若 英寿  
山崎 正道  
梅若 紀彰

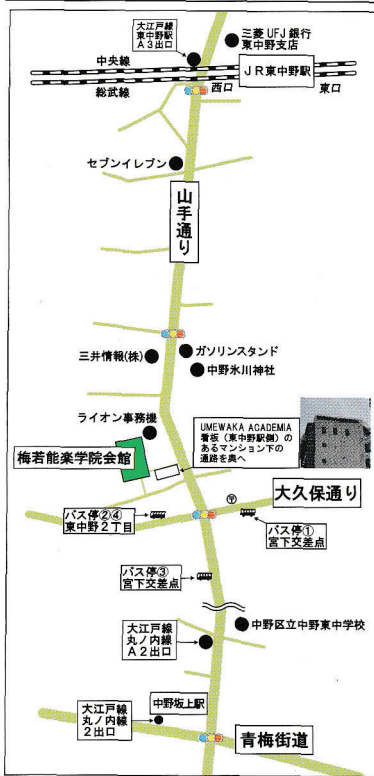
間 金田 弘明

飯田 清一  
藤田 貴寛

梅若 英寿  
山崎 正道  
梅若 紀彰

『三輪』(みわく大和の三輪山麓に住む玄賓(げんびん)僧都の庵に、毎  
日水運び自分の為の読経を頼む里女がいた。女は秋深い夜に衣を恵ん  
で欲しいと頼み、僧は衣を与え女に住家を聞くと三輪の杉のそばと答え  
女は姿を消す。三輪明神は杉が御神体で、僧は里の男から杉に衣が掛っ  
ていたと聞き、三輪山を訪ねる。御神木にかかる衣は里女に与えたもの  
で、金文字の和歌が記されてあった。そこに烏帽子に狩衣の姿の三輪明  
神が現れ、昔の三輪縁起を物語り神楽を舞う。やがて天照大神が天の岩  
戸に隠れた故事を示し、その姿は夜明けとともに消え、僧は夢から覚め  
る。

『自然居士』(じねんこじ)京都、東山雲居寺で七日間の自然居士(青年  
僧)の説法が行われる。そこへ一人の少女が両親の追善供養を頼むため  
に、小袖を居士に供える。すると突然、東国の人買い達が現れ少女を連  
れ去る。これを見た居士は少女が小袖の為に身を売ったのだと気付き、  
説法を止め小袖を手に後を追う。琵琶湖の天津の浜で少女を船に乗せた  
人買いに追いついた居士は小袖を投げ返し、船に押し乗る。命を惜しま  
ず、少女を帰さなければ船を下りないと言う居士に人買い達は居士をな  
ぶってやろうと考え、居士は言われるままに様々な芸をする。ついに少  
女を取り戻した居士は共に都へ帰って行く。



- <JR線>
・総武線・東中野駅西口 徒歩8分
<地下鉄>
・大江戸線 東中野駅 A3出口
・大江戸線 中野坂上駅 A2・2出口
・丸の内線 中野坂上駅 A2・2出口
いずれも徒歩8分
<バス>
①関東バス(宿05:中野駅経由)
新宿西口→野方行 宮下交差点下車
②関東バス(宿05:中野駅経由)
野方→新宿西口行 東中野2丁目下車
③京王バス(渋64:中野坂上経由)
渋谷→中野駅南口行 宮下交差点下車
④京王バス(渋64:中野坂上経由)
中野南口→渋谷行 東中野2丁目下車
\*当会館は駐車場はございません。
ご来場の際は電車、バス等をご利用下さい。
東京都中野区東中野2-6-14
(公財)梅若会
(梅若能楽学院会館)
TEL:03-3363-7748
FAX:03-3363-7749

【観能チケットとお願い】

- ◆自由席 7,000円・賛助会員券 48,000円(8枚綴り券)・正面指定料別途1,000円(指定のご希望は公演1週間前までお申し込み下さい)
- ◆チケットは梅若会HPからメールまたは電話、ファクスにて郵便番号、ご住所、お名前、ご連絡先電話番号、ご希望席種をお書きの上お申し込み下さい。(https://umewaka.org/ TEL 03-3363-7748 (不不休)・FAX 03-3363-7749)
- ◆都合により出演者、曲目に変更がある場合がございます。
- ◆当日のクローク(荷物お預かり)は閉鎖させていただきます。
- ◆梅若会の感染予防対策の取り組み内容
当能楽堂内は株式会社松美家様のご協力により、光触媒(抗菌)コーティング加工済ですので安心してご観能下さい。
- ◆観能に際してのお願い
入館時における検温・消毒、個人情報の提出にご協力下さい。他のお客様へのご配慮として、マスク等の着用をお願い致します。
また、お客様ご自身による健康管理をよろしくお願い申し上げます。
※個人情報 は チケット裏面にご記入頂きます。



梅若会定式能 令和5年7月16日(日)

能 『自然居士』  
じねん こじ

—自然居士という喝食僧が様々な遊芸を演じて少女の危機を救う曲—

能 「自然居士」	シテ (自然居士)	松山 隆之
	子方 (少女)	松山 純美
	ワキ (人買い)	大日方 寛
	ワキヅレ (人買い)	野口 能弘
	間 (雲居寺門前の者)	高澤 祐介

□見所

◎一人の子供を助けるため自分の身を顧みない居士の場面。

ワキ「舟より御下りなくは拷訴(拷問)をいたそう」  
シテ「拷訴といっぱ捨身の行」  
ワキ「命を取ろう」  
シテ「命を取るとも、ふつつと下りまじい」

◎人買いは子供を助ける代償として居士に舞を要求、居士は難題に応じる場面。

まず中之舞と船の起源を語るクセ舞。次に当時流行の芸能・ササラをする真似をし、  
更にカッ鼓ノ舞と息もつかず舞い、子供を救い出し共に都へ帰る。  
—舞の妙味をお楽しみ下さい—

◎ 松山隆之、純美の親子が共演します。

□ 観阿弥の作

他に 能 「三輪」 二段神楽・彩色之伝 シテ 川口 晃平 ワキ 御厨 誠吾

舞囃子「経正」替之型 鷹尾 章弘

狂言 「鈍根草」 三宅 右矩 三宅 近成